2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目	区	分	基礎分野	授業の方法	講	義演習
科目名	コミュニケーション技術と学習	支援	必修/	選択(の別	必修	授業時数(単位数)	30	(1) 時間(単位)
対象学年	1年次		学期及	び曜	時限	前期	教室名	名	子教室
担当教員	市場 千尋	実務経験と その関連資格	看護師として総合病院に勤務後、看護教員として専門学校に勤務						

《授業科目における学習内容》

看護の基盤となる人間関係に大きく影響を及ぼすコミュニケーションの意義と方法について理解する。 看護の実践能力の一部である人々の個人に関わる学習を支援する看護技術について基礎的な知識と実際について理解 する.

《成績評価の方法と基準》

授業や演習への参加状況と課題提出状況、筆記試験で総合的にi評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座 専門分野2 基礎看護技術I 医学書院 看護がみえる 基礎看護技術 ① メディックメディア

《授業外における学習方法》

事前に教科書を読んでおく。常に自分の考えを持つ習慣を付けましょう。

《履修に当たっての留意点》

コミュニケーションは看護援助の基本-言語的・非言語的な表現の大切さを理解し、実践的な表現能力を身につけてほしい。 看護における学習支援の目的と意義を理解することができる。

授美					授業以外での準備学習	
方	法		· · -	使用软剂	の具体的な内容	
一点上	講義	授業を 通じての 到達目標	看護技術とは何かをイメージできる。 医療におけるコミュニケーションの目的や特徴が説明できる。		「コミュニケーションとは 何か」を考えてくる。	
	我形式	各コマに おける 授業予定	看護技術とは コミュニケーションの意義と目的、構成要素	教科書		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	効果的な関係構築のためのコミュニケーションについて説明で きる。		授業で学んだ内容を復	
2	莪形式	各コマに おける 授業予定	関係構築のためのコミュニケーションの基本	教科書	習する。教科書・看護技 術がみえるを読んでく る。	
3	講	授業を 通じての 到達目標	コミュニケーション障害がある人の特徴とコミュニケーションについて説明できる。		授業で学んだ内容を復習する。教科書・看護技術がみえるを読んでくる。	
	義形式	各コマに おける 授業予定	コミュニケーション障害がある人の特徴 コミュニケーション障害がある人への対応について	教科書		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	効果的なコミュニケーションの中の傾聴についての説明ができ る	教科書	授業で学んだ内容を復 習する。教科書・看護技	
4 回 元	演習形式	各コマに は おける 傾聴の技術		看護技術がみえる	術がみえるを読んでく る。	
第	講	授業を 通じての 到達目標	効果的な情報集についての留意点が説明できる	教科書	授業で学んだ内容を復 習する。教科書・看護技	
5 ^新 用	義形式	各コマに おける 授業予定	情報取集の技術	看護技術がみえる	術がみえるを読んでく る。	

授業の 方法			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 6	演習	授業を 通じての 到達目標	プロセスレコードを用いて自己のコミュニケーションの課題を明らかにする。	教科書	授業で学んだ内容を復 習する	
。回	形式	各コマに おける 授業予定	プロセスレコードを用いて自己の関わりを振り返る			
第 7 回	講義	授業を 通じての 到達目標	プロセスレコードを用いて自己のコミュニケーションの課題を明 らかにする。		講義終了時に示す課題 を提出すること	
	形式	各コマに おける 授業予定	プロセスレコードを用いて自己の関わりを振り返る	教科書	授業で学んだ内容を復 習する	
第	講	授業を 通じての 到達目標	看護における学習支援とは何か 看護における学習支援の目的と意義を説明できる		授業で学んだ内容を復 習する	
8 🗓	義形式	各コマに おける 授業予定	学習支援の目的・意義 看護支援の対象者とそのニード 看護の役割	教科書		
第	講義	授業を 通じての 対達目標 学習支援の基礎知識について説明できる			授業で学んだ内容を復	
9	彩形式	各コマに おける 授業予定	学習の基礎知識 学習支援の基礎知識	教科書	習する	
第	講義	授業を 通じての 到達目標 学習支援の方法について説明できる			授業で学んだ内容を復	
10 回	莪形式	各コマに おける 授業予定	学習支援の技術	教科書	習する	
第	演習形式	授業を 通じての 到達目標	患者個人を対象とした学習支援について説明できる		グループで意見交換が できるように準備する	
11		各コマに おける 授業予定	患者個人を対象とした学習支援(Gワーク)	教科書		
	演習	授業を 通じての 到達目標	患者個人を対象とした学習支援について説明できる		グループで意見交換が できるように準備する	
	形式	各コマに おける 授業予定	患者個人を対象とした学習支援(Gワーク)・発表練習	教科書		
第	演習	授業を 通じての 到達目標 関連目標			発表における自己の役 割を確認しておく	
13	形式	各コマに おける 授業予定	患者患者を対象とした学習支援(発表)	教科書	授業終了後、課題を提 出する	
第	演習形式	授業を 通じての 到達目標	患者の家族を対象とした学習支援について説明できる		授業終了後、課題を提出する	
111		各コマに おける 授業予定	患者の家族を対象とした学習支援(Gワーク)	教科書		
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	「コミュニケーション技術と学習支援」の授業の学びと気づきを自己の 言葉で述べることができる		極坐做 7次 細暗孔中	
		各コマに		教科書	授業終了後、課題を提出する	